広報とき　2016.10.1
Vol.1631

編集・発行　土岐市役所まちづくり推進課広報広聴係
〒509－5192　土岐市土岐津町土岐口2101
☎0572－54－1111／FAX0572－55－7763／http://www.city.toki.lg.jp

VEGETABLE OIL INK
環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています

いきものふれあいの里 陶史の森だより

土岐市ネイチャーセンター
☎㊾5144

背中の色は緑色　でも名前は…？

信号機の“進むことができる”という意味の色を私たちは「青色」と呼びますが、実際は「緑色」をしていますよね。これは古来、日本語では緑色を「アオ」と呼んでいたことに由来します。同じ理由で、「緑色」の美しい背中をしたこの鳥は、「アオゲラ」と呼ばれます。

大きさは、約30㎝ぐらい。頭頂部から首にかけて赤い部分が目立っているのが雄です。雌は、赤い部分がずっと細く短いそうです。日本にだけ生息するキツツキの仲間です。

ある日、遊歩道を歩いていると、とてつもなく大きな声で「キョッ！キョッ！キョッ！」と鳴かれてびっくりしました。一年中、この辺りにいるはずですが、なかなかその姿を見ることはできません。しかしようやく昨年の10月に２～３回、姿を見掛けることができました。キツツキは、秋の季語だからでしょうか？

ところで、キツツキを漢字で書くと「啄木鳥」＝「木を啄(つば)む鳥」と書きます。また他には、詩人の石川啄木が創作活動に没頭すると、原稿用紙にカッカッカッと鉛筆を走らせている音や様子が、あたかもキツツキのようであったから啄木鳥となったという説もあるようです。本当かなぁ～？と少し疑いたくなる筆者でしたが、そういった名前の由来を考えるのも、自然と付き合っていく上ではなかなか面白いものです。

森の日記　【陶史の森 案内図】増設します

広～い陶史の森には、たくさんの遊歩道があり、自然との触れ合いや健康づくりのために、多くの方がウォーキングやハイキングを楽しんでいます。平成25年度には、遊歩道の主な分岐点26カ所に案内図を設置しました。現在地も明記してあり、来園者の方々から「道に迷うことがなくなった」と大好評でした。

そこで、今年度中に案内図をさらに28カ所増設することにしました。新たな大型遊具も設置され、ますます快適で楽しい陶史の森となります。ご期待ください！

※この看板は、「清流の国ぎふ森林・環境税」活用して設置したものです。

教室のご案内

10月

きのこ教室（要申込・定員20人）
10月２日(日) 午前９時～11時30分
陶史の森に生えるキノコを観察し、名前を教わります。

バードウオッチング（自由参加、雨天中止）
10月23日(日) 午前９時～11時30分
秋の野鳥を観察します。

11月

葉っぱのしおり作り教室（要申込・定員20人）
11月６日(日) 午前９時～11時30分
色づいた葉っぱを採集し、しおりにします。

秋の天体教室（要申込・定員20人、雨天中止）
11月６日(日) 午後６時15分～７時30分
月や木星や火星などを観察します。

バードウオッチング（自由参加、雨天中止）
11月27日(日) 午前９時～11時30分
晩秋の野鳥を観察します。

ネイチャーセンターでは、希望する方に双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。